

夢をもち、未来を切り拓く生徒の育成



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより 第8号
令和5年9月6日

「茂木だからできる・茂木で育てる・茂木から未来へ」

文責 校長 野田 希世美

9・4茂木中平和集会を行いました

9月4日に平和集会を行いました。1年生は原爆について調べ学習をし、平和壁新聞を作成しました。それぞれが調べたことをわかりやすく新聞にして、自分の思いを伝えています。

11月には原爆資料館などを訪問し、平和フィールドワークを行う予定です。2年生は「長崎になぜ原爆が落とされたのか」をテーマにそれぞれの生徒が自分で課題を見つけて調べました。発表では日本と中国との関係について、またドイツ兵とイギリス兵の「クリスマス休戦」について意見を述べました。3年生は卒業生からの引継ぎとして茂木にある潮見崎公園の原爆慰霊への千羽鶴作成と奉納、原爆慰霊碑を再現した絵画

や慰霊碑文、茂木の被爆者の言葉を紙芝居にして伝承していく活動についての発表がありました。そのあと、生徒会の浦川さんから茂木中学校平和宣言がありました。10月に茂木中の2年生の「対話型平和学習の授業」が長崎市内の先生方に研究授業として公開されます。そこでもまた、茂木中学生の様々な意見発表が活発に交わされることを期待しています。



茂木夏まつりが盛大に行われました！茂木中学生が準備を手伝いました

8月26日は茂木の夏祭りが行われました。花火大会もあるということで、たいへんわくわくしておりました。この花火大会のため、早朝から会場設営を地域の皆さんがされていました。茂木中の生徒も1年生から3年生までたくさん手伝いに来てくれました。テントを張ったり、いすやテーブルを並べたり、みんな一生懸命頑張りました。夜の花火もとても大きなきれいな花火があがりました。(花火の写真は事務室の熊先生がとってくださいました)



【会場設営に来てくれた3年生】

1, 2年生もたくさんいました！

写真を撮る時間がなくてごめんなさい

【熊先生撮影】

長崎新聞 声～若い広場に茂木中の生徒の作文が掲載されました

父と僕の思いを込めた優勝～2年上川さん～

最近剣道の大会があり、団体戦で見事優勝することができました。その時僕はお父さんの思いも同時に達成できた感じもしました。その前にも大会がありました。そこで僕は先鋒（せんぼう）を務めました。先鋒は試合の流れを作るともいわれています。しかしその日の僕は、負けか引き分けに終わってしまいました。後のみんなが勝ってくれたので、どうにか3回戦までいけましたが、4回戦で僕ともう一人の子が負けてしまい、チームとしてまけてしまいました。その後僕はチームの人としゃべることができませんでした。次の週にも大会があると知りました。それに気づいたお父さんは、1週間のうち3回、防具をつけて練習の相手をしてくれました。そんなお父さんを見て、チームの役に立ちたいと思っているのは僕だけではなかったのだと思いました。そして、大会当日、お父さんは僕の背中を大きな手で叩きました。嬉しくなりやる気が出ました。そのまま試合に臨み、見事優勝しました。お父さんと僕の思いを一度に達成できたことが最高にうれしかったです。（7月25日掲載）

3年生と挑んだ最後の試合～2年川口さん～

6月の中学総合体育大会という大会は3年生にとっては最後の大きな試合だ。だが茂木中女子バレー部は今まで部員が5人しかいなかったため、大会に出られなかった。4月、新たに1年生が加わり、合計9人になった。ローテーションの確認や他校との練習試合など去年とは違った練習がスタートした。幸運なことに今年、バレー経験の若い先生が茂木中に来てくれた。おかげで、日曜だけでなく平日にも本格的な練習ができるようになった。ただ、大会が迫るにつれ、3年生と一緒に部活ができる時間も短くなっていった。いよいよ中総体だ。1日目は小ヶ倉中と対戦した。出だしがあまりよくなく1セット目は取られると思っていた。その時、ギャラリーの声や学校の応援の力で、なんとか巻き返すことができた。とてもうれしかった。2日目は長崎中と対戦し、自分たちの力を出し切れずに負けてしまった。3年生にとっては悔いが残った試合だと思った。3年生と一緒に試合ができる機会はもうないが、次の試合で3年生に嬉しい報告ができるようにがんばっていく。（6月27日掲載）

楽しんで頑張った伝統行事～2年森さん～

みなさんはペーロン体験に参加したことがありますか。私は7月2日の日曜日に体験しました。私たち茂木中2年生は昨年も参加したので2度目の体験でした。初めて体験した昨年は舟が揺れて、とても怖くおどおどしていましたが、今年はそれに慣れ、元気よくこぐことができました。今回も揺れがありましたが、こぐにつれてバランスも安定し、周りでこいでいる人と笑顔で楽しむことができました。

ときどき、前でこいでいる人の水しぶきがかかってきたけれど、微妙に蒸し暑かったので、すこしひんやりしました。舟から降りるとびしょびしょに濡れている人がいました。休憩の合間に水分補給をしましたが、いつもより頑張った後だけあって、水の味は格別でした。テントの片づけをして、家に帰ってシャワー浴びると、これもまたいつものシャワーより気持ちよかったです。茂木ペーロン保存会の皆さんのこぎを見ていると、力強く、迫力がすごく、カッコよかったです。今回の体験で伝統文化・行事を若い世代で受け継いでいこうと思いました。私も地元で何か貢献したいです。（7月11日掲載）

この他にも、まだ掲載されている茂木中生の作品がありますので、随時また掲載してお知らせいたします。小宮先生が授業の中で、たくさん創作活動を指導して下さり、応募をしていただいています。

